

さわらうエコナビ通信

第8号・発行
平成21年10月26日
早良区生活環境課
TEL:833-4341
協力
早良区環境活動
連絡会議

身近な環境教育

夏休みにみんなで金屑川清掃 西福岡中学校

夏休みの8月25日、西福岡中学校（城園真智子校長）の全校生徒約400人は、原西校区自治協議会（竹田重成会長）と一緒に、校区内を流れる金屑川の清掃を行いました。



川にごみを捨てないで！

とになりました。

午前9時に運動場に集合した生徒たちは、歩いて金屑川まで行き、学年ごとに分かれて清掃を行いました。大きなごみでは、自転車やタイヤなどがあり、拾ったごみは軽トラック2台分もありました。参加した生徒からは、「川の大切さを知ってごみを捨てないことが大事だと思う」「遠くから見るときれいな見えたが、近くから見ると結構ごみがあった」「ポイ捨てをせずに、自分よりサイクルや清掃活動などを積極的にやっていききたいと思う」などの感想がありました。

城園校長は、「身近なところでごみを拾うことに取り組んでみて、自分たちが大変な思いをすればごみを捨てないようになります。環境問題に対する意識付けとなっているのでは」と話していました。

今、地球環境を考える

講演会で環境問題を学ぶ

内野校区

内野曲瀬校区環境推進委員会（福田昌博会長）は、3月8日、校区の住民に環境問題を知ってもらおうと内野公

親子でエコ学習

「クリーンアップわきやま」 脇山校区



不法投棄から脇山の自然を守ろう！

脇山校区自治協議会 青少年部（真子紀男部長）は、8月23日、親子エコ学習「クリーンアップわきやま」を開催しました。

これは、同青少年部が資源回収などのエコ活動の一環として昨年度より行っているもので、今年度は自然環境の保護について学ば

め、町内で行っている不法投棄防止パトロールに随行しました。

このパトロールは、平成13年から脇山校区自治協議会が中心となって毎月1回行っているものです。

当日は、参加した小学生と保護者等約40名が7台の車に分乗し、一緒に不法投棄防止パトロールをしました。

以前不法投棄が多かった現場では、同校区自治協議会の結城勉会長から、ごみ回収の苦労話や警察と一緒に不法投棄をしている人を見つけた話などがありました。

参加者からは「エコ学習で校区のことを知ってよかった」「山の中は初めて行ったが、家電品など業者が集めて不法投棄していることもあることを知った」「自分たちの環境を守っていかねければいけないと思った」等の感想がありました。結城会長は、「パトロールを行い監視の目を光らせることで不法投棄防止に効果がある。校区でも関心をもって取り組んでもらっている」と話していました。

これは同校が6年前から取り組んでいる「環境学習」の一環として行ったもので、今まではごみの分別やりサイクル、校舎周辺の清掃活動などを行ってきましたが、金屑川がごみで少し汚れているのに気付き、ホタルが住める川にしようと、清掃活動に取り組むこ

民館で環境講演会を開きました。

当日は、午前中に不法投棄ごみの回収を行い、夜は講演会と1日を通して環境問題に取り組み日となりました。

国際法・国際環境法が専門の西南学院大学法学部教授の岩間徹さんを講師に招き、「今、地球環境を考える」をテーマに話をしてもらいました。

岩間さんは「今、世界各国では大気汚染や水質汚染などの問題があり、オゾン層の破壊、地球温暖化など地球規模の問題となっている。自然の環境は人間の出す不用品や汚染物質を受け入れ、同化(浄化)するが、今の人間の活動は環境の浄化作用の限界を超え、そのバランスが崩れている。内野校区



生態系のバランスが崩れている！

は森があつて川がある。山が雨水の吸収をし、川がきれいであれば、博多湾では漁業も潤う。そういう「森・川・海・人」をつなぐプロジェクトに取り組むことも可能ではないか」と提案しました。

ジャイカ研修生との交流会

リサイクルの取り組みを紹介 高取校区



紙リサイクルステーションに感心！

高取校区ごみ減量リサイクル推進会議(佐々木實会長)は3月26日、ジャイカ(Jica) 独立行政法人国際協力機構)研修生と交流会を行いました。訪れたのは、マーシャルやミクロネシア、バルバドス、モルディブなどイン

ド洋、太平洋に浮かぶ島国から廃棄物の管理を学びに来た男女7名。自国では廃棄物の管理官など行政の仕事に携わっています。自己紹介では自国の環境対策や日本に来ての感想などを話しました。国によって廃棄物の処理はさまざまですが、日本の廃棄物処理の状況に驚いているとのことでした。校区からは環境美化に取り組み「クリーン高取」やリサイクルせつけんの作り方を紹介しました。紙リサイクルステーションの見学では、新聞紙や段ボール等の資源物の分別の状況や、資源回収量に応じ行政から報奨金が出ていることに、研修生一同は大変興味を示していました。

一緒にきれいにしよう！

ももち福祉プラザと清掃活動 百道浜校区

百道浜校区ごみ減量・リサイクル推進会議(柴崎正廣会長)は7月16日、ももち福祉プラザ(西田真理子館長)の職員や利用者と一緒に校区内の清掃活動を行いました。(毎月1回実施) 午前10時、同プラザに集合した参加者は、柴崎会長の「頑張ろう」のかけ声で出発。集合場所の百道中央公園ま

で、道沿いにあるごみを拾いながら歩きました。道路の植え込みには、投げ捨てられた空き缶やペットボトル、お菓子の袋などが落ちています。

清掃に参加した同プラザの利用者からは、「折れた傘はごみにしないで持ち帰って欲しい」「たばこ、空き缶などのごみが多かった」などの声がありました。

西田館長は、「午前10時からの1時間という時間なので無理なく参加できていると思います」と話していました。また柴崎会長は「一緒に清掃させてもらうようになって10年位になりますが、百道浜がきれいと言われるのはももち福祉プラザのボランティア活動のおかげです」と話していました。



ごみは捨てないで欲しいな～